

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

新中学校の教育条件を守れ

令和5年度より南知多中学校がスタートします。この中学校の3年生は26人の4クラスにできるのに35人の3クラスでスタートしようとしています。内田議員は、9月議会でも今の教育条件が悪くないようにと一般質問しました。その後、町民も教育長に要望しました。教育長と懇談したAさんから投稿が寄せられましたので、紹介します。



「35人ではなく26人の学級に」町民から要望

南知多町の少子化は深刻になってきているが、小さな学校・学級であることのメリットもあつたと思う。一人一人に教師の目が行き届き、困難を抱えた子にも寄り添い、きめ細かな指導が行われてきたことである。しかし、来年度統合の南知多中学校では、新3年生が3学級(1クラス約35人)になるといふ。「こりゃあ大変だ!」「統合による1名の加配教員を拒否し、4学級(1クラス26人にして!」と元教員の町民3名が教育長と懇談した。

町民は、「世界の流れは少人数学級で、日本が平均32人に対し、OECD平均23.3人、EU20.9人」「日本でも、昨年、財務省の反対で見送りとなったが、荻生田元文科相は小中30人学級の考えを示した」「来年度の日間中の3年生は毎日船で

通学、20人だったクラスが35人になると、環境が大きく変わら大変」「35人と26人のクラスでは子どもたちにも教師にも全く教育条件が違う。学校をブラック職場にせず、小さな町で丁寧でゆとりある教育ができる条件を生かしてほしい」等の要望を出した。

教育長は「26人がいいのはわかる。しかし、他の自治体は4人でやっているし、新3年生は35人なのでやれると思う」「統合で環境が大きく変わるため、特に日間賀島の船が欠航した場合の対応(各家庭でのタブレットによるリモート授業など)に加配教員を使いたい」との考えを示した。

結局、今回は教育長は要望を認めなかったが、来年度のことなので、今後ぜひ検討をしてもいい。南知多町の教育をよくするために、町民の声を伝えることの大切さを痛感した1時間だった。(町民のAさん)

健康保険証の廃止発言を撤回せよ

マイナンバーカードの違法強制

10月13日、河野太郎デジタル相は、「マイナンバーカードと健康保険証の一体化」を前倒しで、これまで政府が説明してきた「原則廃止」を「廃止」として期限を2024年秋と決定しました。

マイナンバー法第17条第1項では、「その者の申請により、その者に関わる個人番号カードを交付するものとする」と『任意取得の原則』を定めています。国民皆保険制度においてマイナンバーカードと健康保険証の一体化は、マイナンバーカードの強制につながる法令違反です。

この間、政府はマイナポイントなどで、カードの交付を進めてきましたが、交付率は国民の49%(9月末現在)に過ぎません。さらに、保険証利用登録件数では20%程度です。国は信頼されていないのです。国民の個人情報、特に医療情報という極めて機微な個人情報をすべてひも付けして集積するやり方に、個人情報を守られるのか、国民が強く憂慮するのは当然です。

再発行に1カ月もかかる

健康保険証を廃止すれば、マイナンバーカードを持ち歩く機会が増え、紛失のリスクも増加し、情報漏洩や第三者による悪用などの懸念も高まります。マイナンバーカードを紛失すれば、再発行に1カ月ほどかかると言われており、その間の受診をどのようにするかも決まっています。



5年に一度は役場で更新 毎回の受診のたびに認証が必要

今の保険証の場合は、市町村役場に取に行くとほなく、郵送されます。しかし、マイナンバーカード一本化になると5年に1回は役所に行つて、マイナンバーカードに内蔵する電子証明書の交換が必要です。10年ごとに訪れるカード自体の更新は、カード発行を担う「地方公共団体情報システム機構」によると、役所から申請を受けてから新しいカードの発送まで、10日かかるといわれます。役所を経て本人の手に渡るのは何日かかるのか...更新の際も必ず1度は、役所に行かなければなりません。

また、今は保険証を月初めに1度窓口に出せばよいのが一般的です。マイナンバーカードになると受診のたびに読み取り機にかざす必要があります。その際に顔認証か暗証番号の入力が必要となります。



日本医師会も反対

患者・利用者もとより、医療機関・介護現場にも高額機器の導入負担で、大混乱を及ぼします。日本医師会も反対声明を出しています。「マイナンバーカードと健康保険証の一体化」に強く抗議し、撤回を求めていきます。

マイナンバー実はマイナカードです

「マイナンバーカードはお得、便利」と政府は宣伝するが、私たちの個人情報すべて国に管理されるようになっていく。もし漏洩したらどう不安はぬぐえない。また、デジタルに慣れない高齢者は特に困ってしまうのではないか。

(川柳コーナー)